

2 月 補 正 事 業 計 画 書

令和4年度 [消防 局]

事 業 名
14 款 1 項 1 目
音楽隊運営費

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	負担金	諸収入	市債	一般財源
現計予算額*	126,381				3,315		123,066
執行見込額	131,381				8,315		123,066
今回補正額	5,000	0	0	0	5,000	0	0

【事業概要】

- ・市や当局の重要行事や自主企画演奏、市民等からの依頼に基づく派遣演奏の場において、演奏・演技活動のほか、対象者に合った防災・減災広報活動やシティーセールスを行う。
- ・演奏活動を行うとともに、市民防災センターの施設管理、展示室運営の補助及び音楽隊の運営上必要な事務を行う。
- ・集団救急事故、緊急消防援助隊等の編成時に輸送車を使用した人員輸送、後方支援等を行う。

【補正概要】

ポートエンジェルス119は、昭和57年に発足以来女性のみで活動を行っており、衣装のパレード服はこれまで大きな変更もなくスカートタイプのみで運用していますが、近年、男女共同参画社会の実現など、現在の社会情勢等も踏まえ、ユニセックスタイプ等のパレード服を作成する必要があります。
ユニセックスのパレード服の作成にあたっては、消防音楽隊は来年度創設65周年、ポートエンジェルス119は今年度発足40周年を迎えたことを契機として実施するため増額します。

◆実施概要

クラウドファンディング型ふるさと納税：5,000千円

【事業費の内訳】

	現計予算額 A	補正額 B	補正後 現計予算額 A+B	説 明
①会計年度任用職員経費（演奏・事務）	100,837	0	100,837	
②会計年度任用職員経費（演奏・事務）	21,862	0	21,862	
③演奏費	3,322	5,000	8,322	クラウドファンディング型ふるさと納税実施による増
④演技費	360	0	360	
合 計	126,381	5,000	131,381	

【事業スケジュール】

	令和4年度				令和5年度											
	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
GCF※																
デザイン入札																
契約・作成																
被服入札																
契約・製作																
納品																
コンサート																

※令和4年12月7日～令和5年3月13日

*現計予算額とは、当初予算額と補正予算額の合計のことを指します。

2 月 補 正 事 業 計 画 書

令和4年度 [消防 局]

事業名
14 款 1 項 1 目 庁舎維持管理費

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	財産収入	諸収入	市債	一般財源
現計予算額*	504,188			120,445	14,347		369,396
執行見込額	563,328			120,445	14,347		428,536
今回補正額	59,140	0	0	0	0	0	59,140

【事業概要】

消防庁舎の庁舎維持管理を実施します。
 執務環境の改善を図り、消防業務を円滑に推進できる環境を整備します。
 救急隊員の感染対策として、救急活動後の手洗いや救急資器材を洗浄するための洗浄・消毒設備を消防署所に整備します。
 「横浜市消防力の整備指針」に基づく救急隊増隊に伴い、必要な庁舎改修等を実施します。

【補正概要】

(増額補正)
 電力料金及び都市ガス料金の価格高騰に伴い、消防署所の施設等を維持管理又は運用するための光熱費予算が不足するため増額補正を要求するものです。

◆実施概要
 <電気料金>
 予算額：129,234千円、執行見込額：196,838千円（差：△67,604千円）
 <ガス料金>
 予算額：34,225千円、執行見込額：46,761千円（差：△12,536千円）

(減額補正)
 感染症対策のため、救急隊配置署所で、救急消毒室が設置されていない消防署所に対し洗浄・消毒設備の整備を進めていましたが、入札に伴う契約残が生じたことから減額補正を要求するものです。

◆実施概要
 予算額：75,308千円、執行見込額：54,261千円（差：△21,047千円）

【事業費の内訳】

	現計予算額 A	補正額 B	補正後 現計予算額 A+B	説 明
庁舎維持管理	330,240	80,140	410,380	光熱水費の高騰による増額補正
執務環境改善	83,700	0	83,700	
洗浄・消毒設備	75,308	△ 21,000	54,308	入札に伴う契約残
救急隊増隊等事業	14,940	0	14,940	
合 計	504,188	59,140	563,328	

【事業スケジュール】

増額補正：令和5年1月～3月
 減額補正：令和4年4月～5年3月

*現計予算額は、当初予算額と補正予算額の合計のことを指します。

2 月 補 正 事 業 計 画 書

令和4年度 [消防 局]

事 業 名
14 款 1 項 1 目
車両管理整備費

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	財産収入	諸収入	市債	一般財源
現計予算額*	548,826			11,763	3,166		533,897
執行見込額	652,517			11,763	3,166		637,588
今回補正額	103,691	0	0	0	0	0	103,691

【事業概要】

- 1 消防車両等の維持管理
 - (1) 道路運送車両法に基づく、継続検査、法定点検の実施
 - (2) 予防整備の実施
 - (3) 燃料の供給
- 2 船舶等の維持管理
 - (1) 消防艇の船舶安全法に基づく船舶検査及び整備の実施
 - (2) 船舶及び浮桟橋の機能及び性能維持を目的とした長寿命化整備
 - (3) 燃料の供給
- 3 交通事故防止対策整備

【補正概要】

原油価格の高騰等による燃料の値上げ及び出場件数の増加等による使用量の増加に伴い、消防車両等及び船舶の運用に必要な燃料費の補正を行います。

◆実施概要

<消防車両>

予算額：193,747千円、執行見込み額：290,696千円（△96,949千円）

<船舶>

予算額：11,444千円、執行見込み額：18,186千円（△6,742千円）

【事業費の内訳】

	現計予算額 A	補正額 B	補正後 現計予算額 A+B	説 明
車両維持管理費	463,200	96,949	560,149	燃料単価の高騰及び使用量の増加に伴う増
船舶維持管理費	74,643	6,742	81,385	燃料単価の高騰及び使用量の増加に伴う増
交通事故防止対策整備費	8,969	0	8,969	
救急隊増隊等事業	2,014	0	2,014	
合 計	548,826	103,691	652,517	

【事業スケジュール】

令和5年1月契約

*現計予算額とは、当初予算額と補正予算額の合計のことを指します。

2 月 補 正 事 業 計 画 書

令和4年度 [消防 局]

事 業 名
14 款 1 項 1 目 司令センター庁舎維持管理費

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	負担金	その他	市債	一般財源
現計予算額*	30,453						30,453
執行見込額	46,238						46,238
今回補正額	15,785	0	0	0	0	0	15,785

【事業概要】

消防司令センターの庁舎維持管理と執務環境の整備>

消防司令センターの庁舎設備の保守点検を定期的に専門業者へ委託して、早期に機器の不具合を把握し、迅速な修繕対応及び更新を行うことにより老朽化した庁舎設備の維持管理の徹底、指令システムの安定稼働に繋げている。

【補正概要】

電力料金及び都市ガス料金の価格高騰に伴い、消防司令センターの施設、消防通信指令設備及び器具等を維持管理又は運用するための光熱費予算が不足するため補正要求するものです。

◆実施概要

<電気料金>

予算額：21,050千円、執行見込額：36,545千円（差：△15,495千円）

<ガス料金>

予算額：700千円、執行見込額：1,038千円（差：△338千円）

【事業費の内訳】

	現計予算額 A	補正額 B	補正後 現計予算額 A+B	説 明
司令センター庁舎維持管理費	30,453	15,785	46,238	光熱水費の高騰による増額補正
合 計	30,453	15,785	46,238	

【事業スケジュール】

令和5年1月～3月

*現計予算額とは、当初予算額と補正予算額の合計のことを指します。

2月補正事業計画書

令和4年度 [消防 局]

事業名	
14款 1項	1目
市民防災センター庁舎維持管理費	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県	諸収入	寄附金	市債	一般財源
現計予算額*	59,370			10,664	160		48,546
執行見込額	66,875			10,664	160		56,051
今回補正額	7,505	0	0	0	0	0	7,505

【事業概要】

災害に強い横浜の実現のため、市内唯一の体験型防災学習施設かつ展示施設を活用した市民等への自助・共助の推進を図る中核施設として防災・減災教育を実施

【補正概要】

電力料金及び都市ガス料金の価格高騰に伴い、市民防災センターの施設等を維持管理又は運用するための光熱費予算が不足するため増額するものです。

◆実施概要

電気料金

予算額：6,250千円、執行見込額：13,719千円（差：△7,469千円）

ガス料金

予算額：350千円、執行見込額：386千円（差：△36千円）

【事業費の内訳】

	現計予算額 A	補正額 B	補正後 現計予算額 A+B	説明
①庁舎維持管理費	38,180	7,505	45,685	光熱水費の高騰による増額補正
②防災教育費	5,860	0	5,860	
③連携事業費	160	0	160	
④指導員経費	15,170	0	15,170	
合計	59,370	7,505	66,875	

【事業スケジュール】

令和5年1月～3月

*現計予算額は、当初予算額と補正予算額の合計のことを指します。

2 月 補 正 事 業 計 画 書

令和4年度 [消防 局]

事業名
14 款 1 項 3 目
救急運営費

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	負担金	諸収入	市債	一般財源
現計予算額*	315,713				6,486		309,227
執行見込額	346,377				6,486		339,891
今回補正額	30,664	0	0	0	0	0	30,664

【事業概要】

傷病者の救命効果の向上及び生命保持に寄与するため、応急処置等を実施し、適切な医療機関へ迅速に搬送する。
 今後も高齢化の進展等により増大が予想される救急需要に対応するため、救急資器材の適正な維持管理、消耗品の調達、ICTを活用した救急業務の高度化等を推進し、救急隊の適切な救命処置や現場到着時間の短縮等による救命効果の向上、救急業務の公平性・公正性の確保による市民サービスの質の向上などを図る。
 また、新型コロナウイルス感染症の流行状況を注視しつつ、救急業務が継続可能な体制を構築する。

【補正概要】

救急資器材管理供給業務委託（以下「SPD」という。）とは、救急活動で使用消費する資器材や医薬材料の調達・購入・使用・補充など、物品の流れを一元管理することを委託するものであり、平成29年4月から運用している。
 令和4年度当初予算（91,934千円）で契約していたSPDでは、救急出場件数の大幅な増加により、予算が不足することから、必要な救急資器材を調達する経費を増額する。

◆実施概要

予算額：91,934千円、執行予定額：122,598千円（△30,664千円）

【事業費の内訳】

	現計予算額 A	補正額 B	補正後 現計予算額 A+B	説 明
①救命指導医等運営費	54,981		54,981	
②救急救命用資器材	136,481		136,481	
③救急業務維持費	16,795		16,795	
④救急事務費	2,206		2,206	
⑤高速道路関連費用	321		321	
⑥救急業務検討委員会	912		912	
⑦ICT運営費	11,295		11,295	
⑧救急資器材管理供給業務委託	91,934	30,664	122,598	救急資器材管理供給業務委託費の増
⑨救急隊増隊等事業	788		788	
合 計	315,713	30,664	346,377	

【事業スケジュール】

令和5年1月～3月

*現計予算額とは、当初予算額と補正予算額の合計のことを指します。

2 月 補 正 事 業 計 画 書

令和4年度 [消防 局]

事業名
14 款 1 項 4 目 航空隊運営費

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	負担金	その他	市債	一般財源
現計予算額*	302,453		70,000				232,453
執行見込額	347,020		70,000				277,020
今回補正額	44,567	0	0	0	0	0	44,567

【事業概要】

横浜市内や広域応援に伴うあらゆる災害に対応するため、航空消防隊（ヘリコプター）の安全運航を目的とした機体整備及び飛行訓練等を実施する。

- ・機体整備費等
1・2号機耐空検査の実施等
- ・操縦士技量維持訓練
計器飛行証明取得訓練委託費及び操縦士緊急操作技量維持訓練委託費等

【補正概要】

- ①燃料費
ヘリコプターの運行に必要な燃料費が原油価格の高騰等により不足するため増額するものです。
◆実施概要
予算額：31,383千円、執行見込み額：43,626千円（△12,243千円）
- ②機体整備費
ヘリコプターの耐空証明の更新に必要な整備が発生したため、機体整備費を増額するものです。
◆実施概要
1号機 耐空検査及び法定点検整備（追加整備）
予算額：10,000千円、執行見込み額：70,000千円（差：△60,000千円）

【事業費の内訳】

	現計予算額 A	補正額 B	補正後 現計予算額 A+B	説 明
①機体整備費	233,953	32,324	266,277	機体修繕、交換部品の増加
②操縦士限定変更訓練費	0	0	0	
③燃料費	32,655	12,243	44,898	燃料単価の高騰による増
④飛行訓練費	0	0	0	
⑤操縦士技量維持向上訓練費	18,438	0	18,438	
⑥航空従事者研修委託費	7,279	0	7,279	
⑦航空救助活動費	3,437	0	3,437	
⑧応援派遣体制確立事業	320	0	320	
⑨管理諸費	3,006	0	3,006	
⑩航空機保険加入費	3,365	0	3,365	
合 計	302,453	44,567	347,020	

【事業スケジュール】

燃 料 費：令和5年1月契約
機体整備費：令和4年12月契約

*現計予算額とは、当初予算額と補正予算額の合計のことを指します。

2 月 補 正 事 業 計 画 書

令和4年度 [消防 局]

事業名
14 款 1 項 5 目 消防訓練センター維持管理費

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	負担金	諸収入	市債	一般財源
現計予算額*	104,832				33,111		71,721
執行見込額	113,686				33,111		80,575
今回補正額	8,854	0	0	0	0	0	8,854

【事業概要】

消防訓練センターで実施される教育・訓練等が支障なく実施できるよう施設及び設備の維持管理を行う。

【補正概要】

電力料金及び都市ガス料金の価格高騰に伴い、消防訓練センターの施設等を維持管理又は運用するための光熱費予算が不足するため増額するものです。

◆実施概要

<電気料金>

予算額：7,200千円、執行見込額：14,150千円（差：△6,950千円）

<ガス料金>

予算額：3,266千円、執行見込額：5,170千円（差：△1,904千円）

【事業費の内訳】

	現計予算額 A	補正額 B	補正後 現計予算額 A+B	説 明
維持管理費	80,553	8,854	89,407	光熱水費の高騰による増額補正
運営費	6,279		6,279	
消防訓練センター施設整備費	18,000		18,000	
合 計	104,832	8,854	113,686	

【事業スケジュール】

令和5年1月～3月

*現計予算額とは、当初予算額と補正予算額の合計のことを指します。